

令和 5 年度 第 3 回 栃木支部評議会議事概要報告（速報）

開 催 日	令和 6 年 1 月 12 日（金） 14：00～15：40
開 催 場 所	栃木県総合文化センター 第 2 会議室
出 席 議 員	東評議員、荒牧評議員、岡崎評議員、小田林評議員、小坂評議員、白土評議員、三浦評議員、山本評議員（五十音順）
議 題	議題 1．令和 6 年度保険料率について 議題 2．令和 6 年度栃木支部事業計画（案）及び保険者機能強化予算（案）について 議題 3．その他
議 事 概 要 （主な意見等）	各議題につき、事務局より資料に基づき説明。 議題 1．令和 6 年度保険料率について （被保険者代表 A） 令和 6 年度の健康保険料率が、9.79%と大幅に引き下がったことは大変喜ばしい。インセンティブ制度の令和 4 年度の栃木支部実績は 5 位と上位に入り、保険料率が 0.05%引き下がる見込みとなったことも大きく影響しているとの説明があった。特定保健指導実施率や健診受診後の速やかな医療機関受診率が大幅に上がったとのことだが、特に特定保健指導実施率の向上については、事業主や被保険者の協力だけではなく、栃木支部の努力の成果もあると思う。インセンティブ制度の結果については、前年度からの伸び率も影響し、高い実績を維持するのは難しいと思うが、今回の結果に安堵することなく、引き続き改善策と伸びしろを見いだしながら、取り組んでいくことが大切と考える。 →【事務局】 インセンティブ制度は評価指標において前年度からの上昇率の割合が大きく、毎年順位を上げるのは難しいと認識しているが、今後もより良い成績を目指していく。 （事業主代表 A） 前回栃木支部評議会における平均保険料率の議論のまとめについて、学識経験者と事業主代表の双方の意見は概ね一致していたように認識しているが、資料によると学識経験者は「やむを得ない」、事業主代表は「妥当である」と表現に違いがあり、認識にずれがあるように感じる。このままだと、学識経験者の意見は「できれば 10 パーセントではない方がいい」というニュアンスに感じてしまう。 →【事務局】 双方の意見に差はないという認識である。協会けんぽの現状を中長期的な視点で鑑み、平均保険料率 10 パーセントはやむを得ないという議論であったと認識している。

【機密性 2】

(学識経験者 A)

表現が少し異なっていただけで、認識としては事務局の説明のとおりである。

(学識経験者 B)

栃木県の一人当たり医療費給付費は、毎年全国平均を下回っている。安定して低いのはどのような要因があるのか。

→【事務局】

様々な要因があると考えられるため、明確に絞ることは難しい。一般的に、一人当たりの医療費の傾向は西高東低であり、その要因としては医療機関数等の多さから受診しやすい背景があると考えられる。協会としても、保険料率が高い3支部をとりあげ、医療費が高い要因について分析している。

(議長)

栃木支部評議会として、栃木支部の令和6年度保険料率を9.79%とすることについて、承認することとしてよろしいか。

(評議員一同)

了承

議題2. 令和6年度栃木支部事業計画（案）及び保険者機能強化予算（案）について

(事業主代表 B)

小学生の医療費適正化の情報提供、被扶養者への特定健診の受診率向上に向けた取組は素晴らしく、ありがたい内容だと感じた。

事業計画において、働き方改革の促進や風通しの良い組織づくりの記載があるが、弊社でも同様に取り組んでおり、職場や組織にとって大事なことだと考えている。可能であれば、アンコンシャスバイアス（無意識の偏見）という言葉も取り入れてみてはどうか。役職者には女性が少ないように感じる。「女性に負荷のある仕事を任せたら悪い」「子供がいる女性社員には無理な仕事を振らない」などといったアンコンシャスバイアスのない環境が協会けんぽでも広まってほしいと思う。

→【事務局】

グローバルな流れ等も考慮し、意識をアップデートしていかななくてはと考えている。頂いたご意見については前向きに検討する。

(被保険者代表 B)

小学生向け医療費適正化の情報提供は、小学校5～6年生に限らず、中学生向けにも作成し、

【機密性 2】

実施してみてもどうか。

→【事務局】

現状、宇都宮市と茂木町の小学校のみの実施となっており、まずは全県への展開を検討している。

協会けんぽとしても北川理事長をはじめ積極的に SDG s に取り組むことを掲げており、若いうちからの健康教育も重要視している。今後は幅広い世代に向けて健康教育を実施していきたいと考えている。

(被保険者代表 C)

インセンティブ制度の概要について、社員に説明しているが、なかなか理解・納得してもらえないような説明は難しい。事業主や担当者が従業員に伝えられるように、広報はできるだけ理解しやすい内容のものを作成いただけるとありがたい。

→【事務局】

5つの評価指標を周知してご理解いただくことは、非常に重要だと認識している。イラスト等を使った分かりやすい広報を多様な媒体を利用して、実施していきたい。

(議長)

栃木支部評議会として、令和6年度栃木支部事業計画及び保険者機能強化予算について、承認することとしてよろしいか。

(評議員一同)

了承

特 記 事 項	下野新聞社 記者 1 名
---------	--------------

・次回、令和6年7月に開催予定。